

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本クロージャー株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 1 4 1 - 0 0 2 2 東京都品川区東五反田 2 - 1 8 - 1
----	-----------------------------	----	--

本票作成	部署名：岡山工場 工務課
------	--------------

主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）
-------	-------	----	------------------------

事業の概要	プラスチックキャップ及び容器製造	岡山工場従業員：184人
-------	------------------	--------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	岡山県勝田郡勝央町太平台60番1号

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 27)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	22,091 t CO ₂	21,640 t CO ₂	21,649 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27)年度排出量
	①	岡山工場	21,640 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(27)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	8.7 %	2.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(個数)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(27)年度	目標年度
		3.648 t CO ₂ /百万個)	3.332 t CO ₂ /百万個)	3.575 t CO ₂ /百万個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・生産数量が前年比に対し増加した一方、コンプレッサー電力削減、冷却水チラーの電力削減、工場照明のLED化などの設備変更、改善が計画以上に進み、エネルギー使用量を維持できたことで原単位を下げることが出来た。

その結果、目標値以上の効果が得られ温室効果ガス排出削減につながった。

【推進体制】

- ・ I S O 1 4 0 0 1 に基づき、工場長をトップとした管理体制のもとエネルギー管理及び使用の合理化を行っている。
- ・ 省エネ委員会を組織し、年 3 回の省エネ会議を開催しエネルギー削減方法の検討実施。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(27年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産金型改善による消費電力を抑えた生産性向上（生産数量増） ・ 圧縮エアーの使用量削減 ・ エアーコンプレッサーの更新 ・ 生産金型冷却水用チラー更新とポンプを含めた台数制御導入 ・ 照明の L E D 化 ・ 老朽化パッケージエアコンの更新 ・ プロアーを使用した搬送からコンベアー搬送へ変更 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不良率の減少による電力削減 ・ 圧縮エアーの使用量削減 ・ ポンプ、ファン、プロアーのインバーター制御化 ・ 照明の L E D 化による消費電力削減 ・ 老朽化設備をエネルギー効率の高い設備へ更新、省エネ制御導入

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・ 休憩時間に事務所照明を消灯することで使用電力削減（省エネ啓蒙活動）
- ・ 居室以外でのエアコンをカレンダータイマーを使用し不要時停止を確実にした。